

## 2019年度第3四半期決算 電話会議 資料

2020年2月14日（金）

立ちどまらない保険。

**MS&AD**

INSURANCE GROUP

### 本日のポイント

#### 2019年度第3四半期 業績

##### <トップライン>

- ・正味収入保険料は501億円、1.9%の増収。
- ・国内損保主要2社合計：606億円、2.9%の増収。再保険コストの増加があったものの、火災保険や自動車保険の販売が好調であったことから増収を確保。
- ・国内生保子会社：グロス収入保険料は、MSP生命の減収を主因に△12.1%の減収。
- ・海外保険子会社：円高ポンド安による為替影響を主因に△1.5%の減収となったが、為替影響を除くベースでは4.2%の増収。

##### <ボトムライン>

- ・四半期純利益は、948億円増益の2,699億円。進捗率は135.0%。
- ・国内損保主要2社合計：自然災害ロスの減少を主因に342億円の増益。
- ・国内生保子会社：5億円の増益。
- ・海外保険子会社：MS Amlinの増益を主因に114億円の増益。

## 全体目次

### 2019年度第3四半期決算の概要

グループ連結	P5-12
国内損害保険会社	P13-15
国内生命保険会社	P16-17
海外保険子会社	P18
（参考）国内損害保険会社主要 2 社の業績概要	P19-21
（参考）MS Amlin 業績概要	P23-24
（参考）ESRの状況	P25

### <参考掲載> 2019年度業績予想（2019年11月19日発表）

グループ連結	P27-31
今回業績予想の主な前提	P32
国内損害保険会社	P33-34
国内生命保険会社	P35-36
海外保険子会社	P37
（参考）国内損保会社主要 2 社の概要	P38-39

※決算データにつきましては、当社ホームページに掲載しています「国内損保決算データ集(Excelファイル)」もご参照ください。

## 2019年度第3四半期決算の概要

損保子会社

(億円)

	2018年度 第3四半期	2019年度 第3四半期	2019年度	
			前年同期比	増収率
元受正味保険料(除く収入積立保険料)※	28,020	<b>28,686</b>	666	2.4%
正味収入保険料※	26,751	<b>27,253</b>	501	1.9%
三井住友海上	11,316	<b>11,535</b>	218	1.9%
あいおいニッセイ同和損保	9,239	<b>9,626</b>	387	4.2%
三井ダイレクト損保	267	<b>263</b>	△ 3	△ 1.4%
海外保険子会社	5,905	<b>5,819</b>	△ 86	△ 1.5%

※ 自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

国内生保子会社

(億円)

	2018年度 第3四半期	2019年度 第3四半期	2019年度	
			前年同期比	増収率
保険料(グロス収入保険料)※	12,114	<b>10,646</b>	△ 1,467	△ 12.1%
三井住友海上あいおい生命	3,683	<b>3,828</b>	145	4.0%
三井住友海上プライマリー生命	8,431	<b>6,818</b>	△ 1,613	△ 19.1%
生命保険料	9,809	<b>7,837</b>	△ 1,972	△ 20.1%

※ 保険料(グロス収入保険料)は国内生保子会社のみ

グループ連結(2019年度第3四半期)①業績の概要 1(トップライン)

(損保子会社[国内・海外])

- ・正味収入保険料は501億円、1.9%の増収。国内損保子会社は585億円の増収。海外保険子会社は為替影響(△331億円)を主因に△86億円の減収となったが、為替影響を除くベースでは245億円、4.2%の増収。
- ・国内損保主要2社の正味収入保険料は606億円の増収。火災保険は、再保険コストの増加があったものの、個人・企業ともに販売が好調で増収となった。自動車保険も、補償の充実化提案やドラレコ型の販売好調等により増収となった。

(国内生保子会社)

- ・MSA生命:16ページを参照
- ・MSP生命:17ページを参照

（億円）

	2018年度 第3四半期	2019年度 第3四半期	2019年度	
			前年同期比	増減率
経常利益	2,376	<b>2,647</b>	271	11.4%
三井住友海上	1,766	<b>1,682</b>	△ 84	△ 4.8%
あいおいニッセイ同和損保	513	<b>615</b>	102	20.0%
三井ダイレクト損保	12	<b>3</b>	△ 9	△ 74.3%
三井住友海上あいおい生命	139	<b>148</b>	9	6.7%
三井住友海上プライマリー生命	257	<b>171</b>	△ 85	△ 33.3%
海外保険子会社	144	<b>394</b>	249	172.2%
その他・連結調整等	△ 457	<b>△ 368</b>	89	-
四半期純利益*	1,750	<b>2,699</b>	948	54.2%
三井住友海上	1,350	<b>1,616</b>	265	19.7%
あいおいニッセイ同和損保	379	<b>455</b>	76	20.1%
三井ダイレクト損保	10	<b>2</b>	△ 8	△ 78.9%
三井住友海上あいおい生命	65	<b>69</b>	4	6.6%
三井住友海上プライマリー生命	187	<b>188</b>	1	0.6%
海外保険子会社	186	<b>300</b>	114	61.2%
その他・連結調整等	△ 427	<b>67</b>	495	-

※ 連結の四半期純利益は親会社株主に帰属する四半期純利益を記載。子会社の四半期純利益は出資持分ベース。以下同じ。

グループ連結（2019年度第3四半期）①業績の概要 2（ボトムライン）

< 四半期純利益 >

（グループ連結）

・四半期純利益は、国内損保子会社および海外保険子会社の増益を主因に948億円増益の2,699億円。

（国内損保子会社）

・MSは政策株式売却益が減少したものの、自然災害ロスの減少および第2四半期に計上した海外事業再編に伴う価格変動準備金取崩益などにより265億円の増益。  
 ・ADは自然災害ロスが減少したものの事業費の増加や異常危険準備金取崩額の減少により保険引受利益は減少。一方、有価証券売却益の増加などにより76億円の増益。

（国内生保子会社）

・MSA生命は4億円の増益。MSP生命は1億円の増益。

（海外保険子会社）

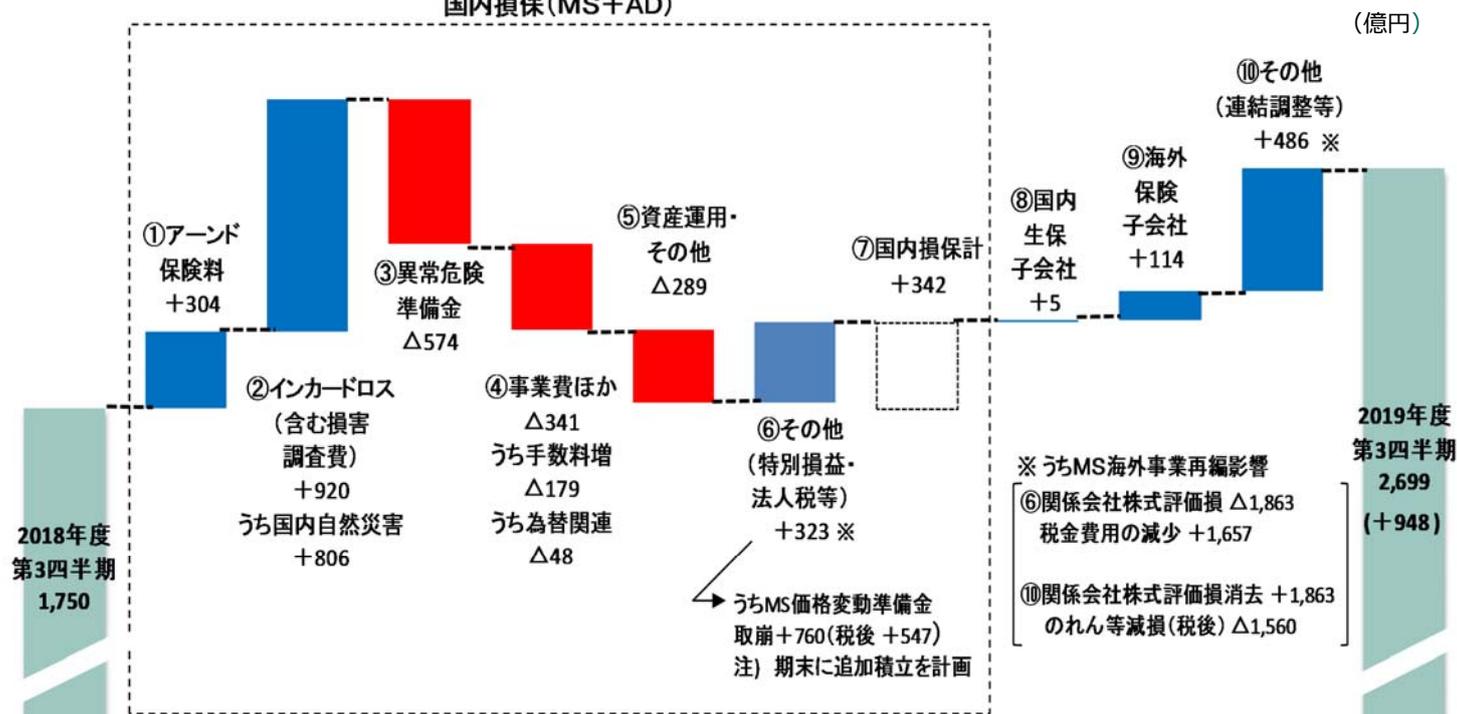
・資産運用が好調だったMS Amlinで182億円の増益になったことに加え、海外生保も16億円の増益となったことから114億円の増益。

## グループ連結（2019年度第3四半期）②前年同期との比較 1

- ・ 四半期純利益は、国内損保および海外保険子会社の増益を主因に948億円の増益。
- ・ 国内損保主要2社は、③の異常危険準備金や⑤の資産運用・その他がマイナス要因となったものの、①のアーンド保険料の増加や②のインカードロスの減少などがプラス要因となり342億円の増益。

### 四半期純利益

#### 国内損保 (MS+AD)



## グループ連結（2019年度第3四半期）②前年同期との比較 2

### 四半期純利益の内訳

(億円)

	2018年度 第3四半期	2019年度 第3四半期	前年同期比
四半期純利益	1,750	2,699	948
国内損保※ <sup>1</sup> 保険引受利益(除く家計地震・自賠責)	549	857	308
アーンド保険料 ①	18,126	18,430	304
インカードロス(含む損害調査費) ②	$\Delta$ 12,399	$\Delta$ 11,478	920
異常危険準備金損益 ③	902	328	$\Delta$ 574
事業費ほか※ <sup>2</sup> ④	$\Delta$ 6,080	$\Delta$ 6,422	$\Delta$ 341
資産運用・その他 ⑤	1,730	1,440	$\Delta$ 289
その他(特別損益・法人税等) ⑥	$\Delta$ 549	$\Delta$ 226	323
国内損保計 ⑦	1,729	2,071	342
国内生保子会社 ⑧	252	257	5
海外保険子会社 ⑨	186	300	114
その他(連結調整等) ⑩	$\Delta$ 417	69	486

※<sup>1</sup> 国内損保は、三井住友海上とあいおいニッセイ同和損保の金額の合計

※<sup>2</sup> 「事業費ほか」には、為替損益などが含まれる

## グループ連結（2019年度第3四半期）③グループ修正利益

・国内損保事業、海外事業の増益を主因にグループ修正利益は544億円の増益。

(億円)

	2018年度 第3四半期	2019年度 第3四半期	前年同期比
グループ修正利益 ※1	1,448	1,992	544
国内損保事業	1,003	1,230	227
国内生保事業	256	273	16
海外事業	162	442	279
金融サービス事業/リスク関連事業	25	46	21

※1 「グループ修正利益」の定義は最終ページご参照。なお「グループ修正ROE」は年度末に開示。

(参考)

$$\begin{array}{c} \text{グループ} \\ \text{修正利益} \\ 1,992 \end{array} = \begin{array}{c} \text{連結} \\ \text{四半期純利益} \\ 2,699 \end{array} + \begin{array}{c} \text{異常危険準備金等} \\ \text{繰入・戻入額}^{※2} \\ \Delta 742 \end{array} - \begin{array}{c} \text{その他} \\ \text{特殊要因}^{※3} \\ \Delta 37 \end{array} + \begin{array}{c} \text{非連結} \\ \text{グループ会社} \\ \text{持分利益} \\ \Delta 1 \end{array}$$

※2 繰入の場合は加算、戻入の場合は減算

※3 のれん償却等△1,785、特別損益(除く価格変動準備金)等1,748 [うちMS海外事業再編に伴う税金費用の減少1,657]

## グループ連結（2019年度第3四半期）④当年度発生自然災害ロス（国内・海外）

- ・国内自然災害は、台風21号等の影響の大きかった前年同期と比べ△806億円減少の1,240億円。
- ・海外自然災害は、ADで大口の自然災害が発生しなかったことを主因に△185億円減少の174億円。

### 国内自然災害の影響

(億円)

	インカードロス		
	2018年度	2019年度	前年同期比
	第3四半期	第3四半期	
三井住友海上	1,058	683	△ 375
あいおいニッセイ同和損保	989	557	△ 431
合計	2,047	1,240	△ 806

(参考)

(億円)

	2019年度 元受支払見込額
台風15号	1,807
台風19号	2,279

※ 2019年12月末時点

※ 台風15号は、支払単価の上昇を主因に前回見込額より457億円増加

### 海外自然災害の影響※

(億円)

	インカードロス		
	2018年度	2019年度	前年同期比
	第3四半期	第3四半期	
あいおいニッセイ同和損保	222	45	△ 177
MS Amlin	137	129	△ 8
合計	360	174	△ 185

※ 上記2社の海外自然災害

## 国内損害保険会社（2019年度第3四半期）①主要2社の業績概要 1

・ 保険引受利益（異常危険準備金反映前）は自然災害ロスが前年同期に比べ減少したことにより882億円の増加。

(億円)

	2社合計(単純合計)		三井住友海上(単体)		あいおいニッセイ同和損保	
		前年同期比		前年同期比	(単体)	前年同期比
正味収入保険料 <sup>※1</sup>	21,162	606	11,535	218	9,626	387
アーンド保険料 <sup>※2</sup>	18,430	304	10,339	167	8,091	136
インカードロス(含む損害調査費) <sup>※2</sup>	(-)	△ 920	6,349	△ 334	5,129	△ 585
保険引受に係る事業費 <sup>※2</sup>	(-)	276	3,387	93	2,982	183
諸手数料及び集金費 <sup>※2</sup>	3,858	179	2,017	79	1,841	100
営業費及び一般管理費 <sup>※2</sup>	2,511	97	1,370	14	1,141	82
保険引受利益(異常危険準備金反映前)	529	882	563	395	△ 34	487
異常危険準備金損益	328	△ 574	250	△ 20	77	△ 553
保険引受利益	857	308	814	374	43	△ 66
EI損害率 <sup>※2</sup>	62.3%	△ 6.1pt	61.4%	△ 4.3pt	63.4%	△ 8.5pt
正味損害率 <sup>※1</sup>	63.6%	△ 3.5pt	64.5%	△ 1.1pt	62.5%	△ 6.3pt
正味事業費率 <sup>※1</sup>	32.8%	0.5pt	31.6%	0.2pt	34.3%	0.9pt
コンバインド・レシオ <sup>※1</sup>	96.4%	△ 3.0pt	96.1%	△ 0.9pt	96.8%	△ 5.4pt

※1 全種目ベース

※2 除く家計地震・自賠責ベース

※ 自動車保険「もとリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

※ アーンド(既経過)保険料は、未経過保険料(除く自然災害責任準備金)・保険料積立金等を調整して算出

## 国内損害保険会社（2019年度第3四半期）①主要2社の業績概要 2

・ 有価証券売却益の減少などにより資産運用損益は減少。政策株式の売却は順調に進捗。  
 ・ MSは、関係会社株式評価損（連結決算上は消去）と価格変動準備金取崩益を特別損益に計上。

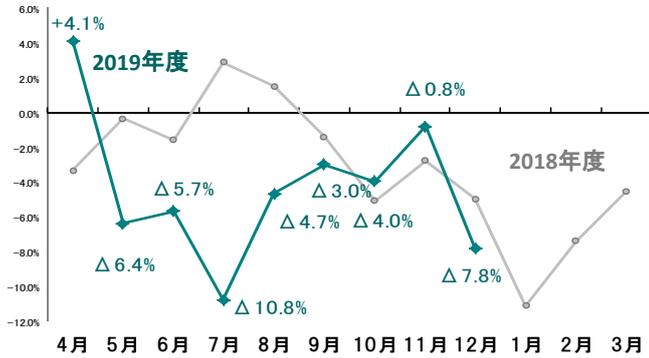
(億円)

	2社合計(単純合計)		三井住友海上(単体)		あいおいニッセイ同和損保	
		前年同期比		前年同期比	(単体)	前年同期比
保険引受利益	857	308	814	374	43	△ 66
ネット利息及び配当金収入	970	△ 51	622	△ 68	347	17
有価証券売却損益	691	△ 231	394	△ 381	297	149
有価証券評価損 (-)	58	5	39	△ 3	19	8
資産運用・その他収支	1,440	△ 289	867	△ 459	572	169
経常利益	2,298	18	1,682	△ 84	615	102
特別損益	△ 1,151	△ 1,095	△ 1,131	△ 1,107	△ 20	11
税引前四半期純利益	1,146	△ 1,076	550	△ 1,191	595	114
法人税等	△ 924	△ 1,418	△ 1,065	△ 1,457	140	38
四半期純利益	2,071	342	1,616	265	455	76
	2社合計					
		前年同期比				
(参考)政策株式売却額	884	△ 71				

## 国内損害保険会社（2019年度第3四半期）②自動車保険の状況

- ・事故件数は、12月末累計で前年同期比△4.8%の減少。
- ・EI損害率は△0.1pt低下の59.4%。引き続き保険金単価の上昇を注視。

事故件数の推移（国内、1日あたり、対前年同月。除く自然災害）  
（MS・AD 2社単純合算ベース）



EI 損害率の推移（含む損害調査費）  
（MS・AD 2社単純合算ベース）



### 保険料・保険金

#### 三井住友海上

<国内・営業ベース>	契約台数	保険料単価	保険料
保険料増減要因	+0.8%	+1.3%	+2.1%
<国内>	対物	車両（除く自然災害）	
保険金単価増減	+1.6%	+2.9%	

#### あいおいニッセイ同和損保

<国内・営業ベース>	契約台数	保険料単価	保険料
保険料増減要因	+0.4%	+2.3%	+2.7%
<国内>	対物	車両（除く自然災害）	
保険金単価増減	+2.3%	+2.4%	

※ 保険料増減要因の諸数値は営業成績ベース(4-12月)の対前年同期比

※ 保険金単価の増減は、2019年3月末過去1年間の保険金単価に対する、2019年12月末過去1年間の保険金単価の増減を表示

※ EI損害率算出対象期間は、各年度の4-12月

## 国内生命保険会社 三井住友海上あいおい生命（2019年度第3四半期）業績概要

- ・新契約高は、前年同期の収入保障保険の販売好調の反動や法人向け商品の販売停止等を主因に減少。
- ・グロス収入保険料は、MSおよびADからの第三分野長期保有契約移行による増収影響もあり145億円の増収。

### 三井住友海上あいおい生命

(億円)

	2018年度 第3四半期		2019年度 第3四半期	
			前年同期比	増減率
新契約高（個人合計）	24,616	15,492	△ 9,123	△ 37.1%
新契約年換算保険料	380	217	△ 162	△ 42.7%
うち 第三分野	132	147	15	11.8%
保有契約高（個人合計）	(期首) 245,331	244,836	(期首比) △ 495	△ 0.2%
保有契約年換算保険料	(期首) 4,315	4,485	(期首比) 170	3.9%
うち 第三分野	(期首) 1,078	1,354	(期首比) 275	25.6%
保険料(グロス収入保険料)	3,683	3,828	145	4.0%
経常利益	139	148	9	6.7%
特別損益	△ 8	△ 8	0	-
四半期純利益	65	69	4	6.6%
基礎利益	126	127	0	0.6%

## 国内生命保険会社 三井住友海上プライマリー生命（2019年度第3四半期）業績概要

- ・ グロス収入保険料は、外国金利の低下による販売マーケットの縮小などにより定額商品が減収、変額商品も減収となったことから△1,613億円の減収。
- ・ 四半期純利益は、前年同期並みの188億円。

### 三井住友海上プライマリー生命

(億円)

	2018年度 第3四半期		2019年度 第3四半期	
			前年同期比	増減率
新契約高（個人合計）	8,584	<b>6,894</b>	△ 1,689	△ 19.7%
保有契約高（個人合計）	（期首） 66,785	<b>69,884</b>	（期首比） 3,098	4.6%
保険料（グロス収入保険料）	8,431	<b>6,818</b>	△ 1,613	△ 19.1%
経常利益	257	<b>171</b>	△ 85	△ 33.3%
特別損益	△ 0	<b>87</b>	87	-
四半期純利益	187	<b>188</b>	1	0.6%

### 金利・為替影響

(億円)

金利影響	12	<b>△ 11</b>
為替影響	△ 37	<b>△ 104</b>
合計	△ 24	<b>△ 116</b>

## 海外保険子会社（2019年度第3四半期）業績概要

- ・ 正味収入保険料は為替影響を主因に△86億円の減収となったが、為替影響を除けば245億円の増収。
- ・ 四半期純利益は114億円の増益。MS Amlinは資産運用の好調を主因に182億円の増益。一方、アジアは前年同期に計上した不動産売却益の反動により△84億円の減益。

### 海外保険子会社

(億円)

	2018年度 第3四半期		2019年度 第3四半期	
			前年同期比	増減率
正味収入保険料	5,905	<b>5,819</b>	△ 86	△ 1.5%
アジア	1,382	<b>1,362</b>	△ 19	△ 1.4%
欧州	4,178	<b>4,127</b>	△ 50	△ 1.2%
（うちMS Amlin）	3,865	<b>3,809</b>	△ 55	△ 1.4%
米州	344	<b>328</b>	△ 16	△ 4.7%
四半期純利益	186	<b>300</b>	114	61.2%
アジア	229	<b>144</b>	△ 84	△ 36.9%
欧州	△ 121	<b>62</b>	184	-
（うちMS Amlin）	△ 96	<b>86</b>	182	-
米州	23	<b>22</b>	△ 1	△ 7.3%
海外生保	54	<b>70</b>	16	30.2%

## (ご参考) 国内損害保険会社 (2019年度第3四半期) 主要2社の業績概要 1

### 正味収入保険料

(億円)

	2社合計(単純合計)		三井住友海上(単体)		あいおいニッセイ同和損保(単体)	
		増収率		増収率		増収率
火災	3,030	6.8%	1,504	1.7%	1,526	12.4%
海上	520	△2.0%	463	△1.0%	57	△9.7%
傷害	1,509	△5.7%	1,075	△3.5%	434	△10.7%
自動車	10,340	2.8%	5,006	1.8%	5,333	3.9%
自賠責	2,635	5.0%	1,397	5.5%	1,238	4.4%
その他	3,125	3.4%	2,088	3.9%	1,036	2.5%
合計	21,162	2.9%	11,535	1.9%	9,626	4.2%
除く家計地震・自賠責	18,521	2.7%	10,135	1.5%	8,386	4.2%

※自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

## (ご参考) 国内損害保険会社 (2019年度第3四半期) 主要2社の業績概要 2

### EI損害率 (2社単純合算)

	EI損害率			EI損害率(除く自然災害影響)		
	2018年度	2019年度	前年同期比	2018年度	2019年度	前年同期比
	第3四半期	第3四半期		第3四半期	第3四半期	
火災 (除く家計地震)	120.5%	81.7%	△38.8pt	53.5%	49.9%	△3.6pt
海上	58.0%	61.6%	3.6pt	55.0%	59.5%	4.5pt
傷害	51.4%	52.0%	0.6pt	51.3%	52.0%	0.7pt
自動車	59.5%	59.4%	△0.1pt	58.2%	58.4%	0.2pt
その他	56.7%	57.9%	1.2pt	52.8%	55.5%	2.7pt
合計 (除く家計地震・自賠責)	68.4%	62.3%	△6.1pt	55.9%	56.0%	0.1pt

※自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

※インカードロス=正味支払保険金+損害調査費+支払備金積増額

※EI損害率の分母となるアード(既経過)保険料は、未経過保険料(除く自然災害責任準備金)・保険料積立金等を調整して算出

※「自然災害影響」は、当年度発生国内自然災害および海外自然災害のインカードロスの合計から2018年度自然災害に係るキャットボンド回収額を控除したものの

EI損害率(三井住友海上(単体)、あいおいニッセイ同和損保(単体))

	EI損害率				EI損害率(除く自然災害影響)			
	三井住友海上 (単体)		あいおいニッセイ 同和損保(単体)		三井住友海上 (単体)		あいおいニッセイ 同和損保(単体)	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比
火災 (除く家計地震)	77.5%	Δ31.1pt	86.9%	Δ48.6pt	50.6%	Δ4.0pt	49.0%	Δ3.1pt
海上	61.8%	5.4pt	59.9%	Δ10.8pt	59.4%	6.4pt	59.9%	Δ10.8pt
傷害	51.8%	0.3pt	52.4%	1.2pt	51.8%	0.4pt	52.4%	1.3pt
自動車	59.1%	0.0pt	59.6%	Δ0.2pt	58.3%	0.3pt	58.5%	0.0pt
その他	58.7%	2.7pt	56.4%	Δ1.6pt	56.6%	4.8pt	53.1%	Δ1.8pt
合計 (除く家計地震・自賠償)	61.4%	Δ4.3pt	63.4%	Δ8.5pt	56.0%	0.7pt	55.9%	Δ0.7pt

※ 自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

※ インカードロス=正味支払保険金+損害調査費+支払備金積増額

※ EI損害率の分母となるアード(既経過)保険料は、未経過保険料(除く自然災害責任準備金)・保険料積立金等を調整して算出

※ 「自然災害影響」は、当年度発生国内自然災害および海外自然災害のインカードロスの合計から2018年度自然災害に係るキャットボンド回収額を控除したもの

(空白)

(百万ポンド)

	2018年度 第3四半期	2019年度 第3四半期	前年同期比
正味収入保険料	2,611	<b>2,746</b>	135
アード保険料	2,326	<b>2,348</b>	22
インカードロス(含む損害調査費)	1,649	<b>1,632</b>	△16
手数料・社費	835	<b>805</b>	△31
保険引受利益	△119	<b>△47</b>	72
資産運用損益※2	123	<b>235</b>	111
その他損益※3	△90	<b>△117</b>	△27
四半期純利益	△65	<b>62</b>	128
EI 損害率	70.9%	<b>69.5%</b>	△1.4pt
EI 事業費率※4	34.2%	<b>32.5%</b>	△1.7pt
EI コンバインド・レシオ※4	105.1%	<b>102.0%</b>	△3.1pt

※1 現地管理ベース

※2 MS Amlinは有価証券の時価変動を損益に反映させる会計処理方法を採用

※3 保険事業会社以外で生じる経費等

※4 EI 事業費率およびEI コンバインド・レシオは、現地管理に合わせて保険引受利益に含まれる為替差損益を入れて算出

(ご参考) MS Amlin 2019年度第3四半期(2019年1-9月期)業績概要

(四半期純利益)

- ・資産運用が好調であったことを主因に62百万ポンドと前年同期比128百万ポンドの増益となった。

(保険引受利益)

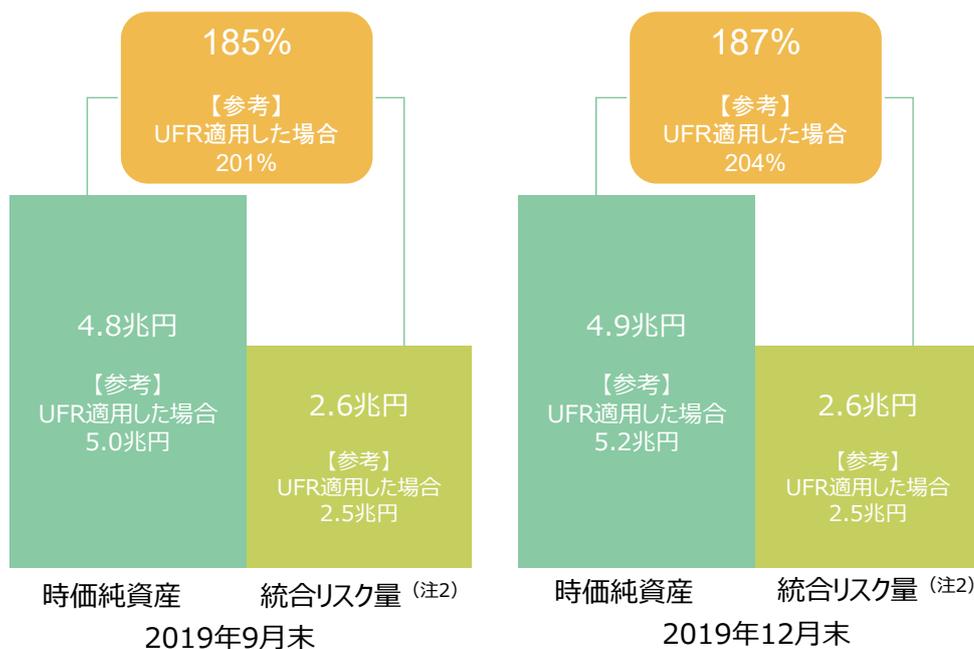
- ・保険引受利益は、概ね業績予想どおり。
- ・一般保険リスクの損害率は、63.8%と前年同期比で5.4pt改善しているが、複数の大口ロスの発生を主因に年初の想定を上回って推移している。

(資産運用損益)

- ・株式および債券ファンド等の好調を主因に235百万ポンドとなり、前年同期比111百万ポンドの増益となった。

## (ご参考) ESRの状況

### ESR<sup>(注1)</sup>



### <ESRの主な増減要因> (2019年9月末対比)

ESRは、主に以下のような要因により2pt上昇。

- ✓ 時価純資産は、国内株価・国内金利の上昇により増加。
- ✓ 統合リスク量は国内株価の上昇により増加したものの、政策株式の削減や国内金利の上昇による減少により、ほぼ横ばい。

### <市場環境前提>

	2019年 9月末	2019年 12月末	対9月末比
日経平均株価	21,756円	23,657円	+1,901円
国債30年金利	0.37%	0.43%	+0.05pt
為替(ドル円)	108円	110円	+2円

(注1) ESR : エコミック・ソルベンシー・レシオ (= 時価純資産 ÷ 統合リスク量)

(注2) 統合リスク量 : 信頼水準99.5%のVaR (Value at Risk) でリスク量を計測。

## 2019年度業績予想

以降は、2019年度業績予想  
(2019.11.19 発表) の資料を  
参考掲載しております

## グループ連結（2019年度業績予想）①概要1（トップライン）

<参考> 2019年度業績予想  
(2019.11.19 発表)

- ・ 損保子会社の正味収入保険料は、海外保険子会社が円高による為替影響を主因に年初予想を下回るものの、国内損保子会社が火災保険、自動車保険などで年初予想を上回ることから、全体では年初予想とほぼ同水準を予想。
- ・ 生保子会社のグロス収入保険料は、MSP生命の減収を主因に年初予想比△2,060億円の減収を予想。

### 損保子会社

(億円)

	2018年度	2019年度 (年初予想)	2019年度(今回予想)			
			前期比	増収率	年初予想比	
正味収入保険料 <sup>※</sup>	35,004	35,240	<b>35,250</b>	245	0.7%	10
三井住友海上	15,124	15,410	<b>15,440</b>	315	2.1%	30
あいおいニッセイ同和損保	12,335	12,610	<b>12,700</b>	364	3.0%	90
三井ダイレクト損保	366	368	<b>360</b>	△ 6	△ 1.8%	△ 8
海外保険子会社	7,146	6,810	<b>6,750</b>	△ 396	△ 5.5%	△ 60

※ 自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

### 生保子会社

	2018年度	2019年度 (年初予想)	2019年度(今回予想)			
			前期比	増収率	年初予想比	
保険料(グロス収入保険料) <sup>※</sup>	15,999	15,250	<b>13,190</b>	△ 2,809	△ 17.6%	△ 2,060
三井住友海上あいおい生命	5,042	5,220	<b>5,190</b>	147	2.9%	△ 30
三井住友海上プライマリー生命	10,956	10,030	<b>8,000</b>	△ 2,956	△ 27.0%	△ 2,030
生命保険料	12,868	11,430	<b>9,640</b>	△ 3,228	△ 25.1%	△ 1,790

※ 保険料(グロス収入保険料)は国内生保子会社のみ

## グループ連結（2019年度業績予想）①概要2（ボトムライン）

<参考> 2019年度業績予想  
(2019.11.19 発表)

- ・ 当期純利益は、自然災害増加による負担増（インカードロスの増加、再保険コストの増加、自然災害責任準備金の積立）があるものの、異常危険準備金やMSの価格変動準備金の取崩、MS海外事業再編影響および償却費負担の減少などを織り込み、年初予想どおりの2,000億円。

(億円)

	2018年度	2019年度 (年初予想)	2019年度(今回予想)		
			前期比	年初予想比	
経常利益	2,908	2,980	<b>2,100</b>	△ 808	△ 880
三井住友海上	2,264	1,820	<b>960</b>	△ 1,304	△ 860
あいおいニッセイ同和損保	613	680	<b>690</b>	76	10
当期純利益 <sup>※</sup>	1,927	2,000	<b>2,000</b>	72	-
三井住友海上	1,711	1,360	<b>960</b>	△ 751	△ 400
あいおいニッセイ同和損保	373	400	<b>400</b>	26	-
三井ダイレクト損保	2	1	<b>1</b>	△ 1	-
三井住友海上あいおい生命	79	100	<b>100</b>	20	-
三井住友海上プライマリー生命	233	170	<b>170</b>	△ 63	-
海外保険子会社	193	380	<b>400</b>	206	20
その他・連結調整等	△ 665	△ 411	<b>△ 31</b>	634	380
ROE(財務会計ベース)	6.8%	7.1%	<b>7.1%</b>	0.3pt	-

※ 連結の当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益。子会社の当期純利益は出資持分ベース。以下同じ。

<国内自然災害の影響>

	2019年度 (年初予想)	2019年度(今回予想)	
		年初予想比	
正味インカードロス	550	1,230	680
三井住友海上	330	700	370
あいおいニッセイ同和損保	220	530	310

(参考)

(億円)

	2019年度元受 支払見込額
台風15号	1,350
台風19号	2,300

※ 現時点における見込み

<異常危険準備金(火災)期末残高>

	2018年度末 残高	2019年度(今回予想)			
		取崩額	繰入額	残高	年初予想比
合計	1,639	775	751	1,615	△ 200
三井住友海上	890	407	509	991	△ 3
あいおいニッセイ同和損保	749	368	242	624	△ 197

※期末に追加繰入(MS:300億円)を織込

<海外自然災害の影響>

	2019年度 (年初予想)	2019年度(今回予想)	
		年初予想比	
正味インカードロス	412	305	△ 107
あいおいニッセイ同和損保	145	135	△ 10
MS Amlin	267	170	△ 97

※ 上記2社の海外自然災害

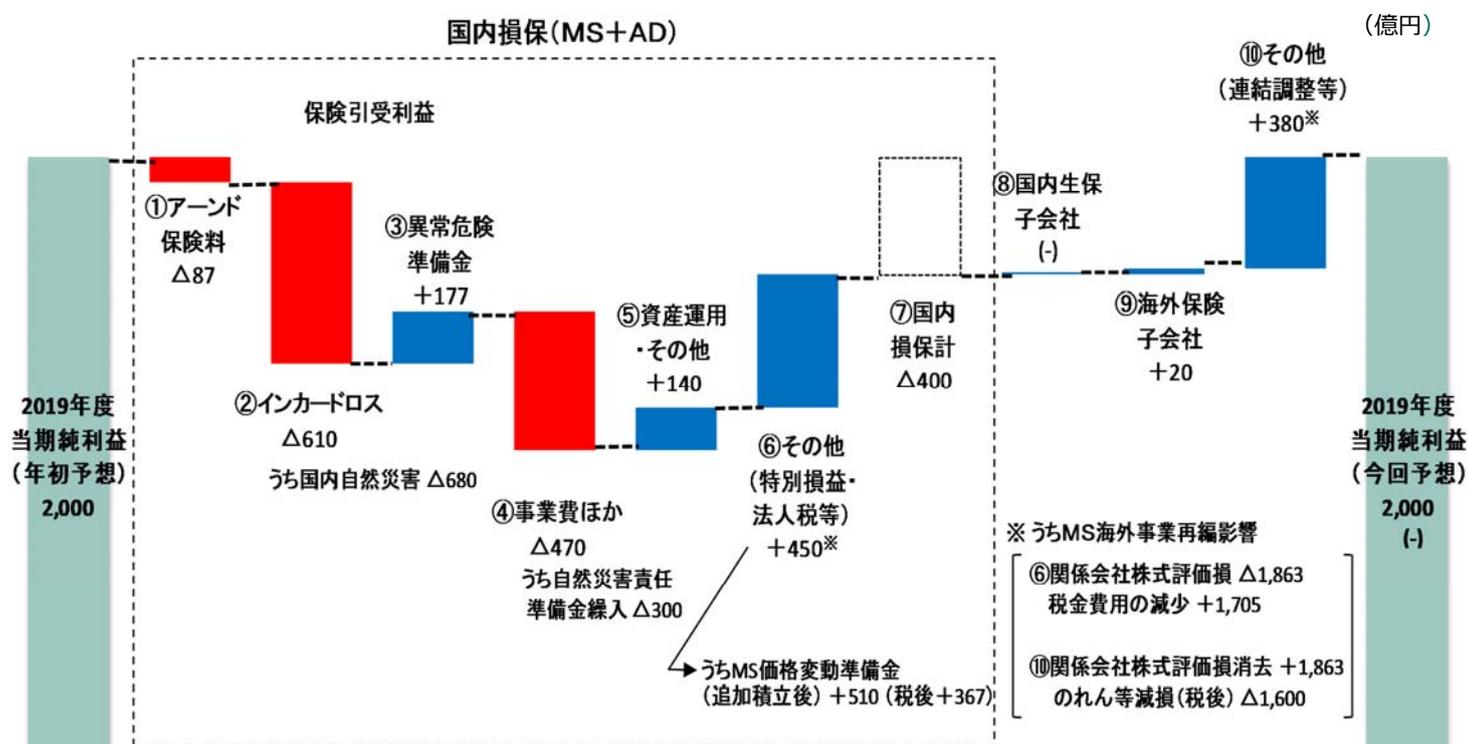
グループ連結（2019年度業績予想）③年初予想との比較

<参考> 2019年度業績予想  
(2019.11.19 発表)

- ・当期純利益は、年初予想どおりの2,000億円。
- ・国内自然災害の増加により、①再保険コストの増加、②インカードロスの増加、④自然災害責任準備金(注)の繰入を織り込む。  
(注)大規模自然災害リスクに対応するための火災保険の責任準備金（下図では通常の未経過保険料との差額を④に含めている。）

連結純利益の年初予想比増減要因

国内損保(MS+AD)

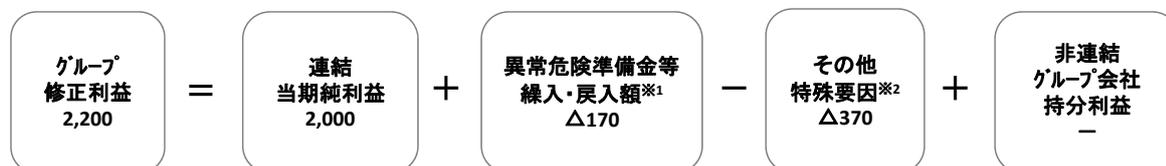


・グループ修正利益は、国内損保事業の減益を主因に年初予想比△430億円の2,200億円。

(億円)

	2018年度	2019年度 (年初予想)	2019年度(今回予想)		
			前期比	年初予想比	
グループ修正利益	1,898	2,630	<b>2,200</b>	301	△ 430
国内損保事業	1,469	1,860	<b>1,070</b>	△ 399	△ 790
国内生保事業	316	290	<b>290</b>	△ 26	-
海外事業	54	420	<b>470</b>	415	50
金融サービス事業/リスク関連事業	58	60	<b>70</b>	11	10
その他経営数値目標					
MSA生命 EEV	8,194	9,270	<b>9,020</b>	826	△ 250
グループ修正ROE	6.1%	8.7%	<b>7.1%</b>	1.0pt	△ 1.6pt

(参考) 2019年度(今回予想)のグループ修正利益



※1 繰入の場合は加算、戻入の場合は減算

※2 のれん償却等△1,870、特別損益(除く価格変動準備金)等1,500 [MS海外事業再編に伴う税金費用の減少のうち、繰延税金資産見合いの1,405億円を含む]

今回業績予想の主な前提

市場環境の前提	三井住友海上		あいおいニッセイ同和損保		
	2019年9月末の水準を想定				
	(参考(2019年9月末) 日経平均 21,756円、米ドル 108円、ユーロ 118円、英ポンド 133円)				
国内自然災害	<b>700億円</b>	(+ 370億円)	<b>530億円</b>	(+ 310億円)	
異常危険準備金 (火災保険)	繰入	<b>509億円</b>	(+ 295億円)	<b>242億円</b>	(+ 11億円)
	取崩	<b>407億円</b>	(+ 298億円)	<b>368億円</b>	(+ 208億円)
	積増	<b>101億円</b>	(△ 3億円)	<b>△ 126億円</b>	(△ 197億円)
異常危険準備金 (自動車保険)	繰入	<b>214億円</b>	(+ 1億円)	<b>227億円</b>	(-)
	取崩	<b>120億円</b>	(△ 22億円)	<b>364億円</b>	(+ 26億円)
	積増	<b>94億円</b>	(+ 23億円)	<b>△ 137億円</b>	(△ 26億円)
法定実効税率	<b>27.9%</b>				

※ 海外自然災害について、MS Amlinは170億円(△97億円)。あいおいニッセイ同和損保は135億円(△10億円)。

※ 異常危険準備金(火災保険)について、三井住友海上で300億円(+300億円)の追加繰入を織込。

※ 価格変動準備金について、三井住友海上は250億円(+250億円)、あいおいニッセイ同和損保は100億円(年初予想どおり)の追加繰入を織込。

※ ( )内は年初予想比

# 国内損害保険会社（2019年度業績予想）主要2社の概要 1

<参考> 2019年度業績予想  
(2019.11.19 発表)

(億円)

	2社合計(単純合計)			三井住友海上(単体)			あいおいニッセイ同和損保			
		前期比	年初 予想比		前期比	年初 予想比	(単体)	前期比	年初 予想比	
正味収入保険料 <sup>※1</sup>	28,140	679	120	15,440	315	30	12,700	364	90	
アーンド保険料 <sup>※2</sup>	24,266	359	△ 87	13,415	143	△ 68	10,851	215	△ 19	
インカードロス(含む損害調査費) <sup>※2</sup>	(-)	15,111	△ 790	610	8,288	△ 283	495	6,823	△ 506	115
保険引受に係る事業費 <sup>※2</sup>	(-)	8,679	473	112	4,697	263	49	3,982	210	63
諸手数料及び集金費 <sup>※2</sup>	5,124	243	97	2,722	141	54	2,402	101	43	
営業費及び一般管理費 <sup>※2</sup>	3,555	230	15	1,975	121	△ 5	1,580	108	20	
保険引受利益(異常危険準備金反映前)	136	305	△ 1,167	240	△ 11	△ 820	△ 104	316	△ 347	
異常危険準備金損益	△ 86	△ 884	177	△ 300	△ 522	-	214	△ 361	177	
保険引受利益	50	△ 578	△ 990	△ 60	△ 533	△ 820	110	△ 45	△ 170	
EI損害率 <sup>※2</sup>	62.3%	△ 4.2pt	2.8pt	61.8%	△ 2.8pt	4.0pt	62.9%	△ 6.0pt	1.2pt	
正味損害率 <sup>※1</sup>	63.0%	△ 3.9pt	1.3pt	62.6%	△ 3.6pt	1.7pt	63.4%	△ 4.4pt	0.6pt	
正味事業費率 <sup>※1</sup>	33.5%	1.0pt	0.3pt	32.6%	1.1pt	0.2pt	34.5%	0.7pt	0.3pt	
コンバインド・レシオ <sup>※1</sup>	96.5%	△ 2.9pt	1.6pt	95.2%	△ 2.5pt	1.9pt	97.9%	△ 3.7pt	0.9pt	

※1 全種目ベース

※2 除く家計地震・自賠責ベース

※自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

※アーンド(既経過)保険料は、未経過保険料(除く自然災害責任準備金)・保険料積立金等を調整して算出

# 国内損害保険会社（2019年度業績予想）主要2社の概要 2

<参考> 2019年度業績予想  
(2019.11.19 発表)

(億円)

	2社合計(単純合計)			三井住友海上(単体)			あいおいニッセイ同和損保		
		前期比	年初 予想比		前期比	年初 予想比	(単体)	前期比	年初 予想比
保険引受利益	50	△ 578	△ 990	△ 60	△ 533	△ 820	110	△ 45	△ 170
ネット利息及び配当金収入	1,104	△ 109	26	719	△ 98	△ 3	385	△ 11	29
有価証券売却損益	890	△ 441	166	566	△ 595	14	324	153	152
有価証券評価損 (-)	133	71	41	103	62	41	30	9	-
資産運用・その他収支	1,600	△ 649	140	1,020	△ 771	△ 40	580	121	180
経常利益	1,650	△ 1,228	△ 850	960	△ 1,304	△ 860	690	76	10
特別損益	△ 1,539	△ 1,369	△ 1,341	△ 1,382	△ 1,350	△ 1,344	△ 157	△ 19	3
当期純利益	1,360	△ 724	△ 400	960	△ 751	△ 400	400	26	-

## 主要項目

(億円)

	2018年度	2019年度 (年初予想)	2019年度（今回予想）		
			増減率/前期比	年初予想比	
新契約高 <sup>※</sup>	31,145	28,341	<b>20,907</b>	Δ32.9%	Δ7,434
新契約年換算保険料 <sup>※</sup>	511	321	<b>302</b>	Δ40.9%	Δ19
保有契約高 <sup>※</sup>	245,331	250,556	<b>245,008</b>	Δ0.1%	Δ5,548
保有契約年換算保険料 <sup>※</sup>	4,315	4,545	<b>4,485</b>	3.9%	Δ60
保険料(グロス収入保険料)	5,042	5,220	<b>5,190</b>	147	Δ30
経常利益	195	219	<b>220</b>	25	1
当期純利益	79	100	<b>100</b>	20	-

※新契約高、新契約年換算保険料、保有契約高、保有契約年換算保険料は、個人保険・個人年金保険の合計

## 主要項目

(億円)

	2018年度	2019年度 (年初予想)	2019年度（今回予想）		
			増減率/前期比	年初予想比	
新契約高	11,182	11,227	<b>8,120</b>	Δ 27.4%	Δ 3,107
保有契約高	66,785	72,780	<b>65,630</b>	Δ 1.7%	Δ 7,150
保険料(グロス収入保険料)	10,956	10,030	<b>8,000</b>	Δ 2,956	Δ 2,030
経常利益	355	278	<b>158</b>	Δ 197	Δ 119
当期純利益	233	170	<b>170</b>	Δ 63	-

海外保険子会社

(億円)

	2018年度	2019年度 (年初予想)	2019年度(今回予想)		
			前期比	年初予想比	
正味収入保険料	7,146	6,810	<b>6,750</b>	△ 396	△ 60
アジア	1,840	1,810	<b>1,757</b>	△ 83	△ 53
欧州	4,860	4,527	<b>4,537</b>	△ 322	10
(うちMS Amlin)	4,477	4,126	<b>4,153</b>	△ 324	27
米州	445	473	<b>456</b>	9	△ 17
当期純利益	193	380	<b>400</b>	206	20
アジア	261	162	<b>160</b>	△ 101	△ 2
欧州	△ 190	34	<b>46</b>	236	13
(うちMS Amlin)	△ 137	62	<b>73</b>	210	10
米州	40	31	<b>31</b>	△ 9	-
海外生保	82	153	<b>162</b>	80	9

（ご参考）国内損害保険会社（2019年度業績予想）主要2社の概要 1

＜参考＞2019年度業績予想  
(2019.11.19 発表)

正味収入保険料

(億円)

	2社合計(単純合計)		三井住友海上(単体)		あいおいニッセイ同和損保 (単体)	
		増収率		増収率		増収率
火災	<b>4,035</b>	5.5%	<b>2,057</b>	3.5%	<b>1,978</b>	7.6%
海上	<b>685</b>	△2.7%	<b>610</b>	△2.0%	<b>75</b>	△8.0%
傷害	<b>2,016</b>	△6.4%	<b>1,463</b>	△3.4%	<b>553</b>	△13.5%
自動車	<b>13,787</b>	2.7%	<b>6,690</b>	1.8%	<b>7,097</b>	3.6%
自賠責	<b>3,482</b>	3.2%	<b>1,850</b>	3.9%	<b>1,632</b>	2.5%
その他	<b>4,135</b>	3.9%	<b>2,770</b>	4.6%	<b>1,365</b>	2.5%
合計	<b>28,140</b>	2.5%	<b>15,440</b>	2.1%	<b>12,700</b>	3.0%
除く家計地震・自賠責	<b>24,650</b>	2.4%	<b>13,585</b>	1.8%	<b>11,065</b>	3.0%

※自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

## EI損害率

	2社合計(単純合計)		三井住友海上 (単体)		あいおいニッセイ 同和損保(単体)	
		前期比		前期比		前期比
火災	74.2%	Δ37.7pt	74.8%	Δ34.3pt	73.6%	Δ41.4pt
海上	59.0%	Δ1.9pt	63.1%	6.8pt	25.3%	Δ71.9pt
傷害	53.3%	2.1pt	52.0%	0.5pt	56.7%	6.2pt
自動車	61.5%	1.8pt	61.0%	1.5pt	62.0%	2.1pt
その他	58.5%	3.3pt	59.1%	6.2pt	57.4%	Δ2.4pt
合計(除く家計地震・自賠責)	62.3%	Δ4.2pt	61.8%	Δ2.8pt	62.9%	Δ6.0pt
(除く自然災害影響)	57.3%	0.6pt	57.8%	1.4pt	56.8%	Δ0.2pt

※ 自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

※ インカドロス=正味支払保険金+損害調査費+支払備金積増額

※ EI損害率の分母となるアード(既経過)保険料は、未経過保険料(除く自然災害責任準備金)・保険料積立金等を調整して算出

※ 「自然災害影響」は、当年度発生国内自然災害および海外自然災害のインカドロスの合計から2018年度自然災害に係るキャットボンド回収額を控除したもの

この資料では、社名表示に次の略称を使用している箇所があります。

- ・ MS&ADホールディングス、持株会社 (＝MS&ADインシュアランスグループホールディングス(株))
- ・ MS&AD (＝MS&ADインシュアランスグループ)
- ・ 三井住友海上、MS (＝三井住友海上火災保険(株))
- ・ あいおいニッセイ同和損保、AD (＝あいおいニッセイ同和損害保険(株))
- ・ 三井ダイレクト損保、MD (＝三井ダイレクト損害保険(株))
- ・ 三井住友海上あいおい生命、MSA生命 (＝三井住友海上あいおい生命保険(株))
- ・ 三井住友海上プライマリー生命、MSP生命 (＝三井住友海上プライマリー生命保険(株))
- ・ MS Amlin (＝MS Amlin plc(現 MS Amlin Limited)とその傘下子会社)

## 「グループ修正利益」の定義

グループ修正利益 = 連結当期利益 + 異常危険準備金等繰入・戻入額 - その他特殊要因（のれん・その他無形固定資産償却額等）+ 非連結グループ会社持分利益

修正純資産 = 連結純資産 + 異常危険準備金等 - のれん・その他無形固定資産

グループ修正ROE = グループ修正利益 ÷ 修正純資産（期初・期末平均）

## 予想および見通しに関する注意事項

この資料に記載されている内容のうち、MS&ADホールディングスならびにグループ各社の将来に関する計画や戦略、業績に関する予想や見通しは、現時点で把握できる情報から得られた当社グループの判断に基づいています。実際の業績は、さまざまな要因によりこれらの業績見通しと異なる結果になり得ることをご承知おき下さいますようお願いいたします。実際の業績に影響を及ぼし得る要因としては、(1)事業を取り巻く経済動向、(2)保険業界における競争激化、(3)為替レートの変動、(4)税制など諸制度の変更、などがあります。

### お問い合わせ先

MS&AD インシュアランス グループ ホールディングス株式会社  
広報・IR部

TEL: 03-5117-0311

URL: <https://www.ms-ad-hd.com/ja/ir/contact.html>